

別紙 審査基準表（第1次審査）

審査項目	判断基準	配点
業務実績	地方公共団体発注で下水道事業にかかるビジョンまたは経営戦略策定・改定支援業務及び使用料改定（審議会運営・使用料体系の統一）と同種又は類似した業務の受注実績をどの程度有しているか。	20
実施体制	仕様書及び実施要領に定める人員が配置され、業務遂行のため、人数、役割分担、責任体制等といった実施体制が充実し、明確となっているか。	20
形式評価	企画提案書の内容は実施要領及び仕様書の内容を理解したものとなっており、わかりやすく、かつ無理の無い工程となっているか。	20
合計		60

別紙 審査基準表（第2次審査）

審査項目	着眼点		判断基準	配点
実施体制等	実施方針	業務の理解度、取組方針	本業務の目的及び作業内容を理解し、どのような方針で取組、その結果、目的の達成が期待できるか。	5
	実施・連携体制	人員配置体制の充実	業務執行に対し、人員配置体制が充実しており、急な欠員の発生などの不測の事態に対応しているか。また、複数人によるチェックやフォローができる体制となっているか。	5
		発注者との連携による進捗管理	市担当との調整の進め方や打ち合わせ方法等が具体的に示されているか。	
	業務工程	業務遂行の実現性	作業項目や工程管理が具体的に示され、円滑な業務遂行が見込まれるか。	5
	業務実績	受注実績	地方公共団体発注で経営戦略策定・改定支援業務及び使用料改定（審議会運営・使用料体系の統一）と同種又は類似した業務の受注実績	5
業務内容等	経営健全化計画の作成		本市下水道の現状を分析したうえで、持続可能な下水道事業を確立するため、仕様書等の内容を踏まえ様々な視点で提案されているか。	15
	審議会の運営		審議会の運営にかかる方針、開催スケジュール及び開催毎のテーマは適切か。また、発注者との連携方法等が具体的に記載されているか。	15
	使用料体系の検討		使用料体系の現状把握、算定方法は仕様書等に沿ったものとなっているか。使用料体系の統一に向けた方策が具体的に記載されているか。	15
	業務内容における調整		それぞれの業務について合理的な方法で調整を図り、他の業務に反映できる提案となっているか。	10
プレゼンテーション			説明は分かりやすく説得力があるか。質疑に対し意図を把握し的確に応答しているか。業務への取組意欲、熱意、信頼性があるか。	15
見積価格			見積金額の上限以内であり、他社と比較し適正と思われる金額か。	10
合計				100